

第5巻 PDF 読本



元鹿児島本線 (下関～鹿児島)

2024年3月9日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 元鹿児島本線（熊本～鹿児島：営業キロ 201.9 km）・・・4

鹿児島本線（川内～鹿児島：営業キロ 49.3 km）

肥薩おれんじ鉄道（八代～川内：営業キロ 116.9 km）

鹿児島本線（熊本～八代：営業キロ 35.7 km）

第2章 鹿児島本線（下関～博多：営業キロ 79.0 km）・・・・・・5 5

第3章 鹿児島本線（博多～熊本：営業キロ 118.4 km）・・・・・・7 6

はじめに

本著書は「こだわり鉄道つたい歩き」シリーズの初刊（東海道本線）、続刊（東北本線（仙台～東京）・山陽本線・常磐線）、第3巻（宗谷本線・函館本線）、第4巻（元東北本線（青森～仙台））に続き5作目の作品です。これまでの2作はいずれも書籍によるものでしたが、3作目である第3巻からは、種々の事情を勘案し、デジタル形態のPDF読本としました。本作品は樫原勉文庫（カッシー館ブログで閲覧可能）で通算14作目（国立国会図書館納本）となります。本著書の登場により、稚内から鹿児島までの鉄道沿線が、“日本縦断の旅”PDF読本に加え、“こだわり鉄道つたい歩き”PDF読本(仙台～下関は2冊の書籍対応)でもご紹介できる環境となり感無量の想いです。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春18きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

第1章 元鹿児島本線（熊本～鹿児島）

2013年（平成25年）のゴールデンウィーク（含む有給休暇：4月27日（土）～5月4日（土））を利用して、鹿児島本線（鹿児島＝川内、八代＝熊本）、肥薩おれんじ鉄道（川内＝八代）そして西日本鉄道（花畑＝小郡）に挑戦する。4月30日（火）に雨が降ったため、当初の日程が多少変更となる。しかし、ジョギングの効果もあり、概ね達成できる。天気は、4月30日を除き恵まれる。

第1節 旅プラン

<1日目> 平成25年4月27日（土） 晴れ

自宅を9時20分出る。家内にさがみ野まで送ってもらう。京急横浜10時19分発の電車で羽田に向かう。



さがみ野駅



横浜駅

SNA75便 羽田13時発（搭乗口は51番） 10A（前翼の先頭辺り）

東横イン鹿児島中央駅東口泊

鹿児島駅に向かいながら、市内観光。帰りは桜島に渡る。

<2日目> 4月28日（日） 快晴

串木野～鹿児島中央、東横イン鹿児島中央駅東口泊

<3日目> 4月29日（月） 快晴

串木野～川内、阿久根～川内、東横イン川内泊

<4日目> 4月30日(火) 雨

新八代～有佐(方向を誤って)、新八代～八代、たのうら御立岬公園～肥後二見
東横イン新八代泊

<5日目> 5月1日(水) 晴れ

阿久根～新水俣、東横イン新八代泊

<6日目> 5月2日(木) 晴れ

新水俣～たのうら御立岬公園、肥後二見～八代、東横イン熊本泊

<7日目> 5月3日(金) 晴れ

有佐～熊本、東横イン久留米泊

<8日目> 5月4日(土) 晴れ

花畑～久留米～小郡、

のぞみ176号(6号車E席) 博多13時50分発 → 岡山着15時42分

実家泊(自宅には17時半頃着)

<9日目> 5月5日(日) 晴れ

琴電井戸駅 15時12分 → 高松駅 16時10分 → 岡山 17時5分

のぞみ46号(5号車9番C席) 岡山17時25分 → 新横浜20時34分

自宅着 21時50分

第2節 1日目：4月27日(土)：鹿児島まで移動&観光 晴れ

昨日はフコク生命時代の高井さんと懇談をする。その関係で、九州旅行の準備は、愛犬セブンの朝の散歩後行なう。本日の鹿児島中央の東横インが東口か西口か不明だったので、メモしていたところに電話する。結果は東口(メモは西口と誤転記していた)であった。自宅を9時20分出る。家内に相鉄線のさがみ野まで送ってもらう。通常であれば、さがみ野から横浜までは座れるのであるが、本日は大和まで座れず。横浜駅で美味しそうな菓子パンがあったので、昼食用に購入する。京急横浜駅で運よく羽田空港行きの直通の快速(10時19分発)に接続していた。羽田駅には11時15分到着。早速、搭乗手続きをする。

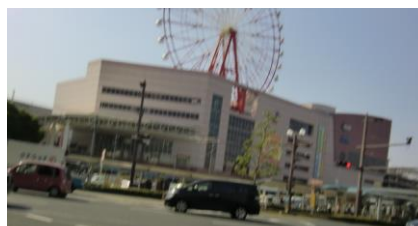
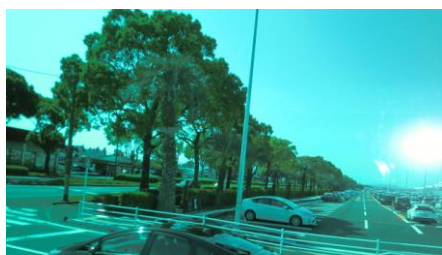


羽田空港

奥の1番カウンターであった。11時20分頃、手荷物検査して、51番搭乗口に移動する。51番搭乗口には12時45分までに行く旨のSNA搭乗案内書をもらう。2名の先客がロビーで寛いでいた。SNA75便は黄色っぽい感じの旅客機であった。1名急いだ客があり、「この便を譲ってくれた方には1万円のお礼をする」旨のアナウンスがあり。なお、鹿児島には3時間遅れとなるが。12時50分頃搭乗する。席は中央の窓側（10A：前翼前方）であった。飛行機に乗るのは9年振り位で、多少不安が交錯した。13時20分頃離陸する。鹿児島までのコースは、「焼津上空、和歌山上空、足摺岬上空、宮崎上空そして鹿児島空港」とのことであった。久しぶり自分が天空を歩いているような気分になる。鹿児島空港には14時56分頃到着。鹿児島空港に着くや否や指宿、桜島、種子島、屋久島の看板を目にする。バスは2番ターミナルから鹿児島中央駅直通（15時11分発：所要時間40分）であった。運賃は1,200円要する。鹿児島中央駅に到達するや否や観覧車と市電を目にする。このような市電は長崎、広島以来で懐かしくなる。東横イン鹿児島中央東口には16時10分到着。509号室であった。料金は2日分で9,290円であった。



鹿児島空港



バスの中より

鹿児島中央駅



鹿児島中央駅 東横イン

ホテルチェックイン後、観光を兼ねながら 3.2km先の鹿児島駅を目指す。16時32分、93歩ある甲突川（こうつき）を渡る。その先に大久保利通像があった。近くには、歴史のロードがあった。また、「1863年(文久3年)、イギリス艦、鹿児島湾に現る」の看板があった。大山巖。西郷従道、山本権兵衛の像があった。16時39分、天文館の看板を目にする。16時49分、鹿児島フコク生命高見馬場ビルがあった。鹿児島のアケードの商店街を歩く。17時10分、朝日通りには小松帯刀（たてわき）像があった。それから少し行った先に西郷隆盛（5.257m）の像があった。この像の前で通行人の方に写真を撮って頂く。17時21分、鹿児島県立図書館前を通過。



大久保利通像 小松帯刀像



西郷隆盛像

17時26分、史跡鶴丸城内に入る。中には七高生久遠の像（17時30分）があった。三体の像があり、「知・情・意」とあった。17時41分、篤姫の晴れ着等を展示した歴史資料センターそう明館があつた。鶴丸城（77万石）には次のようなコメントがあった。「薩摩は人をもって城となす」。天守閣をもたない屋形づくり。17時51分、放送大学前を通過。鹿児島駅には、18時到着。駅前には市電のターミナル（終点）であった。18時4分、桜島を目にする。急遽、桜島にフェリーで渡ることにする。桜島栈橋を目指す。18時20分、桜島フェリーに乗船（運賃150円）する。乗船するや否や、やぶ金でそば（400円）を頂く。乗船時間は20分位。夕暮れの鹿児島港と桜島を堪能する。桜島は少し噴煙をあげていた。18時34分、自転車が趣味の尼崎在住の石井氏に桜島を背景に写真を撮って頂く。



鶴丸城



18時47分、桜島に到着。桜島より鹿児島港の日没瞬間の風景をカメラに収める。桜島に15分位滞在し、19時のフェリーで鹿児島港を目指す。鹿児島港には19時20分頃到着。桜島港からホテルまで歩くことにする。19時40分、山形屋前を通過。20時8分、維新ふるさと道前を通過。20時10分、かごつま屋台村で一杯飲んで帰る。さつま揚げと芋焼酎をセットにして。ホテルには20時46分到着。万歩計は21,327歩だった。夜の観覧車はとても印象に残った。



鹿児島駅



桜島



船内



桜島港



維新ふるさとの道 かごしま屋台村

第3節 3日目：4月28日（日）：串木野～鹿児島中央 快晴

ホテルを7半頃出て、駅前の写真を撮る。鹿児島中央駅で鹿児島中央本線のスタートを確認する。駅長さんが親切にも、資料室で調査頂く。その結果、鹿児島中央駅から3.2km先の鹿児島駅とのことであった。昨日の散策の結果、鹿児島駅前には鹿児島中央駅前程賑やかではなかった。そして、鹿児島中央駅7時57分発の串木野行に乗り、終点の串木野駅（運賃630円）に向かう。その前に、指宿方面行の電車（7時51分発）がホームに止まっていた。この区間は山また山であり、相当踏破に骨が折れそうなコースであった。特に、鹿児島中央～広木～上伊集院の歩きは大変そうであった。



鹿児島中央駅



串木野駅には、8時38分に到着する。串木野駅前には、68660（形式8620）の汽車のヘッド部分と車部分が展示していた。その傍らには、長谷場純孝先生像があった。



串木野駅



串木野駅界限



神村学園前駅

8時57分、1両編成の鹿児島方面行の電車が追い越して行く。9時、大原公園前(海拔19m)を通過。ここから、川内原子力発電所まで15.3kmとあった。9時10分、須納瀬交差点を通過。9時11分、いちき串木野市須納瀬(国道3号線)で1円拾う。この1円は、今回の旅行の記念としたい。9時14分、県立串木野高校前を通過。近くに釜揚げうどん丸亀製麺があった。近くにタンポポの花園があった。9時21分、さつま焼発祥の地の看板前を通過。9時25分、高校野球で聞き覚えのある神村学園があった。今年、プロ野球選手になった選手の名前が学園前の塀に張り出されていた。神村学園前駅には9時33分到着する。9時38分、下名前を通過。9時44分、門司より355km地点を通過。9時49分、いわさきバス別府バス停を通過。9時51分、“いちごがり”いちごハウス木場前を通過。その先にてっちゃんそばの“らーめん”の旗を見かける。9時53分、私の万歩計で123歩ある八房橋(八房川)を渡る。10m位歩くと橋となる。次の橋は120歩であった。10時3分、弟の名前を思い出す“とっちゃん家”(鉄板居酒屋)があった。

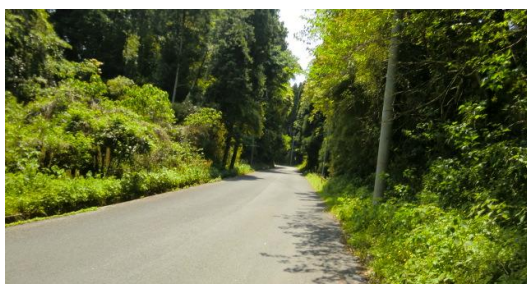


市来駅



湯之元駅

10 時 18 分、市来駅入口の看板を目にする。近くに鹿児島銀行が会った。国道から 500 m 位入り、市来駅には 10 時 27 分到着。駅舎には印象的な絵画が駅名上にあった。駅前の手前には“さよなら原発”のポスターがあった。暑くなり上着を脱ぐ。国道に平行した路を歩く。左側には JR 線が平行して続いていた。10 時 52 分、ホトトギスの鳴き声を聞く。10 時 58 分、下には鉄道があった。すなわち、鉄道の左を歩く。11 時 2 分、電車と接する。11 時 17 分、日置市に入る。11 時 30 分、JR 下を潜る。鉄道に沿って歩くが、ゆのもと保育園前で行き止まりとなる。保育園では鯉のぼりが勢いよく泳いでいた。11 時 30 分、どどろき通りを歩く。11 時 48 分、湯之元駅に到着。11 時 55 分、皆田踏切を横切り、鉄道の左側となる。遠回りし、森林の中を歩く。途中、迷いそうになるが、畑で作業していた人に聞いて難を逃れる。12 時 35 分、石垣でできた市来幼稚園・鶴丸小学校前を通過。12 時 43 分、やっと国道 3 号線に戻る。その先 77 歩にある長里橋（江口川）があった。



森林の中歩く



東市来駅

12 時 48 分、道路から 2 から 3 m 位上がった先に東市来駅があった。駅の手前に、行列のできる店があったが、時間の関係でパスする。12 時 50 分、交差点で救急車がやってくる。門司から 364 k m 地点の鹿児島本線は複線であった。13 時 6 分、西郷隆盛の肖像画がある五大焼酎の看板があった。この辺りの地名は、美山とあった。ヤシの木が並ぶ道路標識には鹿児島 25 k m、霧島 61 k m の表示があった。13 時 13 分、門司から 365 k m の地点に達する。13 時 35 分、131 歩ある朝日トンネルを越える。13 時 50 分、れすとらん“びいはいぶ”(099 - 273 - 3350) に入る。カツカレーを注文。親切な女性から「お好きな番組はありますか」と尋ねられ、「囲碁をお願いします」と回答する。14 時前であったので、終盤戦であった。結果は、白番(中国人〇〇)の中押しとなった。ここのママは、大竹のぶよさん(ドラえもんの声優)のような方であった。趣味の名刺を渡してこの店を出る。



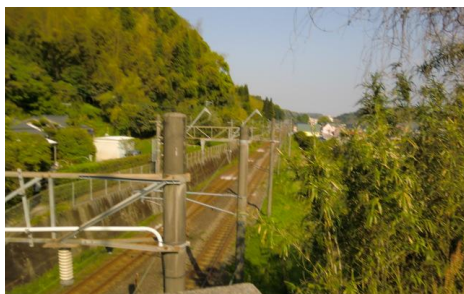
びいはいぶ

伊集院駅近郊

伊集院の道筋を教えて頂く。近いと言われたが、相当遠いのに驚いた。14 時 55 分、前方に JR 線を見て安堵する。15 時 4 分、兜が印象的な徳重地下道を潜る。15 時 5 分、伊集院駅に到着。駅前には、関ヶ原の合戦に参加した島津義弘公の勇ましい銅像があった。



伊集院駅



薩摩松元駅

15 時 13 分、宝山焼酎の看板前を通過。15 時 16 分、鉄道が道路下にある。すなわち、鉄道の左側となる。ここから、松元駅そして上伊集院駅は、簡単にクリアできる。15 時 35 分、県道 24 号線（鹿児島東市来線）伊集院町小原を通過。16 時 11 分、再度鉄道を下にし、鉄道の右側となる。16 時 16 分、鹿児島市へ入る。16 時 30 分、間口が 2m 位の階段からなる薩摩松元駅には 16 時 21 分に到着。緩やかな階段を 20m～30m 位上がった先に駅舎があった。沢山の学生を中心とする乗客がホームにいた。



上伊集院駅



そこからは鉄道に沿って歩いた先に上伊集院駅（17 時 10 分）があった。モダンな駅舎であった。駅の広場には絵画が展示されていた。近くに高校があった。それで朝沢山の女性徒が下車したのであろう。近くには、ガーデンヒルズ松陽台の住宅売り出しが目についた。17 時 17 分、鹿児島市上谷口町を通過。17 時 41 分、南国交通饅頭石原バス邸前を通過。



池田高校前

18時5分、池田高校前バス停を通過。この近くの民家で広木駅の道筋をお尋ねする。お尋ねした若者は親切にも「私はわからないので、母親を呼んできます」と。そして回答は「くねくねした山道を通り抜ければ行けませんが。夕方なので危険です。とりやめて、真っ直ぐ中央駅をめざした方がいいですよ」と助言をいただく。それで一旦は断念する。



広木駅への路

しかし10分位歩き、高速道路が前方にある交差点で、軽トラックで作業していた人（二人連れの親子）に、広木駅の道筋をお伺いする。「この道から30分位で行けますよ。途中学校があります。その先を少し行った先を降りれば目的地です。近くでまた聞いて下さい」と激励の言葉を頂く。それで、急遽、冒険の歩きに挑戦する。途中、通行止めだった。急な道路を上る。広い道路に出る。運よく、犬を散歩させている人に、広木駅を聞く。「この道路を真っ直ぐ進み、車を沢山止めているところから、山道を下る。すると、踏切にぶつかる。その踏切を越え、鉄道に沿って歩いた先に広木駅がありますよ」と回答を頂く。18時35分、鹿児島文化工芸村前を通過。18時40分、元巨人定岡投手の母校の鹿児島実業があった。ここから何人もの人に聞きながら進む。しかし、なかなか山を下る入口が見当たらず。2回程下る道を誤り、行き止まりとなる。引き返す。やっと、助言を頂いた交差点に差し掛かる。多少不安もあったが、確信して200m位の坂道を一気に下る。暗闇なので、背筋が凍りついた。19時11分、広木踏切に到着。この踏切を横切って、真っ直ぐ歩いた先の階段を上がる。そして、幹線道路に出て、少し歩いた先に待望の広木駅（19時19分）があった。非常に充実感に浸る。



広木踏切



広木駅

この駅踏破後、オートバイに乗った方に、鹿児島中央駅の方向をお尋ねする。「1 時間この道を真っ直ぐ行ったら先に鹿児島中央駅がある」とのことであった。19 時 45 分、鉄道が左手に現れる。安堵する。19 時 56 分、幹線道路に合流する。この辺りから、道路が明るくなる。遠くに鹿児島の市内の明かりが見えて来る。駅前の観覧車も見える。鹿児島中央駅西口には 20 時 32 分着。ヨドバシカメラがあった。東口には 20 時 40 分着。ホテルに一旦帰り、昨日行った「かごつま屋台村」に出向く。奄美大島の店で疲れを癒す。横浜在住の上村氏と趣味等に関し語り合う。1 時間位歓談し、この店を後にする。本日の営業キロは 34.1 km、万歩計は 76,556 歩だった。充実した一日であった。



鹿児島中央駅

第 4 節 3 日目：4 月 29 日（月） 快晴

< その 1 > 串木野～川内

朝 4 半頃、起床し、本日の作戦を練ったり、iPod の充電をする。本日に限らず、朝早く目が覚める。朝ロビーで朝食を済ませ、昨日と同じダイヤで串木野駅（8 時 38 分着）に向かう。昨日見かけた学生が途中、市来駅で下車する。本日、串木野駅 8 時 38 分着で、12 km 先の川内発 12 時 25 分発の肥薩おれんじ鉄道に間に合わせたいので、時間との戦いとなる。荷物もホテルに預けたいので、川内駅には 12 時着が必須となる、すなわち、3 時間ちょっとで 12 km を歩かねばならない。相当のプレッシャーがかかる。しかも、串木野から川内までの沿線風景を車内から一度も見えていないから不安は倍増する。地図を見る限り、易しそうだったので、何とかできるだろうと自分に言い聞かせる。本日も快晴だった。荷物を背負っての歩きとなる。このシリーズ“こだわり鉄道つたい歩き”の旗をなびかせての歩きとなる。



東横イン



8時44分、串木野駅出発。8時54分、165歩ある五反田橋（五反田川）を渡る。8時57分、川内12km、熊本165kmの看板を目にする。この川内（せんだい）という呼び名は、かつての先輩の宮氏に教えて頂いた。彼の実家は川内とのことであつた。8時58分、JR線を潜り、鉄道の右側となる。9時31分、金山蔵や正宗（薩摩の清酒）の旗が風で揺らいでいた。9時51分、旭小学校、幼稚園前を通過。10時14分、芹ヶ野交差点を通過。10時21分、薩摩川内市内へ入る。いつの間にか鉄道は右手側にあつた。



木場茶屋駅

10時26分、木場茶屋（こば）駅に到着。この駅で方向を誤りそうになる。10時35分、鉄道下先で確認をとる。この道で間違いがないとのことであつた。10時40分、金魚を養殖している前を通過。11時4分、ヤマダ電機薩摩川内前を通過。11時16分、42歩の隈之城川を渡る。11時25分、隈之城駅に到着。11時48分、JR線を下にする。11時56分、81歩ある金剛橋（隈之城川）を渡る。11時58分、薩摩川内市立川内小学校前を通過。12時1分、50歩ある向田橋を渡る。川内駅には12時8分到着。駅前の東横イン川内に荷物を預ける。駅には12時15分に戻ってくる。



隈之城駅



川内駅

＜その２＞ 阿久根～川内

肥薩おれんじ鉄道の川内駅（12時28分発）から30.7km先の阿久根駅に向かう。おれんじ鉄道の電車は、JR線の先頭部分に止まっていた。よくわからず、JR線の方で待っていた。待てど暮せど電車はこず。よく見ると、待ち合わせの場所が違っていた。もう少しで乗り遅れそうになるが、危機一髪でこの勘違いから脱出。係員の方から「まだ間に合います。よかったですね」と。運賃850円を支払う。電車は2両編成のワンマンカーであった。おれんじ鉄道の電車を描いた絵画が車内に展示されていて、この電車は絵画展示電車でもあった。乗客の多くが写真撮影していた。車内からの風景を堪能しながら阿久根まで移動する。



肥薩おれんじ鉄道

牛ノ浜界限で風光明媚な海岸線が見えて来る。阿久根駅には 13 時 4 分到着。駅を降りるや否や、観光バスがやって来る。駅前の風景をカメラに収めて歩き開始。竹に花を飾った花壇が数百メートルの商店街に展示されていた。鮮やかな花のオンパレードであった。中々の街並みであった。



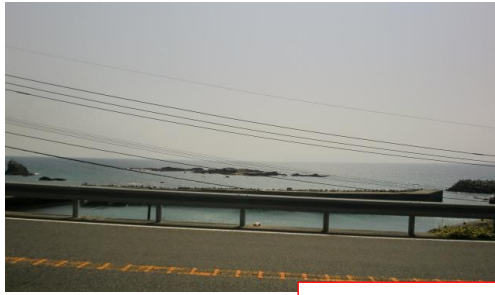
阿久根駅



ユニークな花壇

縁を感じた特急車

13 時 17 分、阿久根小学校前を通過。平成 19 年 3 月で 137 周年を迎えたとの垂れ幕があった。ここから、道路標識は鹿児島 60 km、川内 29 km とあった。グリーン色の故郷を思い出す高松橋（15 歩）を 13 時 24 分渡る。再度、300～400m 続く商店街を通過、ここでも竹の花壇があった。半分位、残念ながらシャッターが閉じられていた。13 時 33 分、阿久根大丸郵便局前を通過。13 時 43 分、門司から 312 km 地点を通過。暫く鉄道の右傍を歩く。13 時 54 分、南国バス佐潟口のりば通過。14 時 1 分、八代行き電車と対面。14 時 11 分、海が赤くなっている箇所を通過。その先に浜が広がる。14 時 28 分、大川島バス停を通過。14 時 38 分、おれんじ鉄道が力点に置いているブルーの食堂車と対面する。この電車とは、肥薩おれんじ鉄道でウォーキングしている際一度は対面する。



牛ノ浜

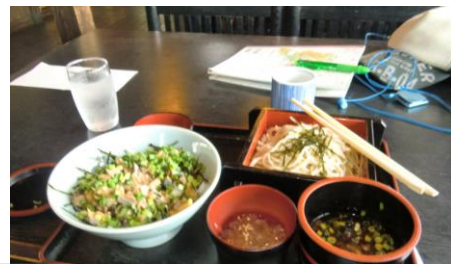


牛ノ浜駅

牛ノ浜駅には 14 時 45 分到着。朝電車の中から、立ち寄りたと思っていた生そば“ふくなが”で遅い昼食を摂る。この店は駅とほぼ同じ場所にあった。そばとセットしたさばめし（750 円）を頂く。とても美味しい料理だった。ここで 20 分位休憩して、次の薩摩大川駅を目指す。



ふくなが



15 時 17 分、門司から 317 km 地点に達する。道路標識では、鹿児島まで 73 km とあった。16 時 1 分、薩摩大川駅に到着。



薩摩大川駅

この駅は、もう少しでロストしそうになるが、危機一髪で助かる。幹線道路から駅が見えるが行けず。近くの住人にお尋ねしてやっとクリアできる。16 時 9 分、道の駅阿久根に到着。ソフトクリーム（250 円）を食で、小休止。16 時 16 分、307 歩ある尻無大橋（尻無

川) を渡る。その先に門司から 320 km 地点があった。16 時 28 分、阿久根市鈴木段を通過。16 時 38 分、JR 線を横切る。16 時 45 分、カエルの鳴き声を聞く。16 時 49 分、阿久根市から薩摩川内市に入るや、うぐいすの声を聞く。17 時 2 分、JR 下にあり。鉄道の右側となる。17 時 6 分、門司から 323 k m の地点を通過。17 時 11 分西方駅に到着。

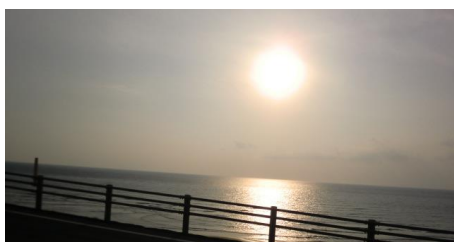


薩摩川内市



西方駅

17 時 19 分、西方海水浴場の看板があった。17 時 25 分、夕日の東シナ海を背後に歩く。17 時 40 分、JR 線を跨り鉄道の左側を歩く。17 時 46 分、砂嶽トンネル通過。17 時 56 分、薩摩高城（たき）駅に到着。



薩摩高城駅



草道駅



上川内駅

18 時 20 分、167 歩ある佐山トンネルを通過。18 時 14 分、泳いでいない鯉のぼり前を通過。18 時 50 分、門司から 330 k m 地点を通過。18 時 52 分、草道駅に到着。ここから、6.4

k m先の上川内駅を目指し、ジョギングもしながら進む。日没し、暗闇を進む。外灯殆どなし。19時50分、目印であるJR線を横切る地点を通過。ここから、JR線右となる。19時55分、JR線の川内行の電車が通過して行く。20時9分、157歩ある高城川を渡る。20時25分、上川内駅に到着。残念ながら、正面の駅舎の看板は暗くてとれず。20時50分、すき家で夕食を摂る。20時56分、県立川内高校前を通過。21時10分、447歩ある太平橋（川内川）を渡る。そこから、アーケードのある川内の市内が広がる。駅前には飲み屋街が多々あった。この町は自衛隊と原発の町とのことであった。21時36分、川内駅に到着。駅構内には綱引きの綱が展示されていた。ホテルには21時40分頃到着。本日の万歩計は68,813歩であった。久しぶりに40kmを越え、42.7km(3番目の記録)であった。充実した一日であった。



夕食のすき家



川内駅



大きな綱



東横イン